

水彩画教室「スキの下河原線」／国分寺・北府中間

国分寺駅を出た下河原線の電車は しばらく中央線の線路に沿って走りました 現在の西国分寺駅の近くで南にカーブを切って 北府中駅に向かっていた
 画の背後に見えるのは 国分寺の日立研究所にあった展望塔です 私は府中市の小学校に京王線で通学していたのですが 小学校3年生の時にものすごい冒険をしました 小学校から北府中駅まで20分ぐらい歩き そこから東京競馬場前駅まで一駅だけ下河原線に乗ったのです 同じ京王線の友達二人と一緒に そのうち一人は女の子でした 終点で降りたあとの記憶がないのですが たぶん府中駅まで歩いたのでしょう ずいぶん無謀な小学生の冒険でした
 ※この画は「道楽齋」さんのホームページに掲載の写真をもとに 許可を得て描きました



これが完成した絵です



1、背後の「日立研究所の展望塔」は この構図では結構重要です 右から光が当たっていると 意識して描きます



2、遠くの国分寺のビル群も大切です これも適度に影をつけて「建物がたくさんあるな」という雰囲気表現します



3、木製の架線柱はとても重要です この電車の位置だと どちらに進んでも信号は赤です 4色の鉄道信号は 上から2灯目が赤です



4、主題の電車は「顔」が重要です 下河原線では黄色い前面行先表示が特徴でした



5、一面だけですが「電車」なので パンタグラフ(集電装置)は重要です



6、線路の立体感は 意外と難しいです スキは一番最後に「修正液」で描きました